

福岡広報2023-40008

2023年6月21日

冠水路面の危険性を解説 「クルマの冠水被害を減らすっ隊」が、 アンダーパスの模型を作製しました

JAF福岡支部（支部長 内野 伸一）は梅雨時期に合わせ、福岡県のクルマの冠水被害を減らすため、冠水想定箇所としてあげられるアンダーパスの模型を作製し6月20日に公開しました。

県内では2017年から2021年までの5年間連続で「大雨特別警報」（気象庁）が発令される豪雨・大雨被害が発生しており、その全てが7月と8月の雨によるものです※。甚大な被害が出た「令和2年7月豪雨（2020年7月3日～31日）」では、福岡県内で603件の「冠水」に関するロードサービス救援要請がありました。（年間648件）

JAF福岡支部では、広く注意喚起をおこなうため、冠水の発生しやすい「アンダーパス」の模型を作製しました。実際に路面の冠水を再現し、クルマが水に浸かってしまう状況や、冠水道路に遭遇してしまった際の対処法、水没車両から脱出するための行動について「クルマの冠水被害を減らすっ隊」※が解説します。「アンダーパス」模型を使用しての取材は、下記「お問い合わせ」より随時受け付けております。

梅雨時期、クルマの冠水被害を防いで命やマイカーを守るためにも、備えておきたい道具や知識、注意点を広くお知らせし、一人ひとりの安全意識向上につなげていきます。

※「災害復旧における福岡県の取り組み」福岡県

※昨年、県内の冠水被害を減らすことを目的としJAF福岡支部交通安全インストラクターで結成された部隊



「クルマの冠水被害を減らすっ隊」が、冠水被害に巻き込まれないためのポイントについて説明します！

冠水した道路を通りかかったときはどうすれば？

車内に閉じ込められてしまった際の対処法は？

今回新たに作成したアンダーパス模型

■ JAFユーザーテストなど動画素材も提供可能
「水没時、何をすれば窓が割れるのか」
<https://jaf.link/3keTfZc> 詳細はこちら



このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。

一般社団法人 日本自動車連盟 福岡支部事業課 担当：佐藤・田中
〒814-8505 福岡市早良区室見5-12-27
Tel:092-841-7731（平日 10:00～17:00）
お問合せエントリーフォーム <https://jaf.or.jp/media>

